



CARROT SYSTEMS
株式会社キャロットシステムズ



- 1 会社のイメージカラー オレンジを基調にした会社入口
- 2 社名の由来は「c(creativity)a(and)r(revolution)o(of)t(technology)」
- 3 新製品「みるポン」。アプリと連携してご飯を「ポン」と発射
- 4 自社ブランド「Alter+ (オルタプラス)」。業務用にもシステム提案・施工を展開

計測・制御技術で社会の安全に貢献 医療機器やロボット開発にも挑む

(株)キャロットシステムズ 代表取締役 西澤 勇司 氏

キャロットシステムズ (中央区相模原) は、産業用・医療用電子機器や防犯・監視機器の企画・開発・販売、汎用小型ロボットの導入支援コンサルなどを手掛けています。「計測と制御」をテーマに事業展開し、「創造」「革新」「技術」を掲げています。近年は医療機器の開発にも熱心です。また、第二の事業として「安全・安心事業」を掲げ、防犯カメラと映像記録装置、ロボットなどの自社製品も展開しています。今回は、同社の西澤勇司社長にインタビューしました。

ら取り、『CARROT SYSTEMS』とし、それをカタカナにしたのが社名です。経営者としては『どうせ仕事をするなら楽しく』をモットーとしています。それというのも、楽しく仕事をした方がストレスもないですし、創造性や革新性も生まれてくると考えているからです」

■経営者として大切にしていることは何でしょうか。

「大切なのは、お客様への感謝やお客様をはじめとした相手への思いやりと、おもてなしの精神だと思います」

■創業の経緯やこれまでの事業展開について教えてください。

「当社の創業は1993年で、私ともう1人のエンジニアで立ち上げた会社です。システム設計をベースとし

てハードやソフトを作る会社からスピアアウトして創業しました。当時は『創造的で革新的な技術をお客様に提供したい』という思いを込めて、これらの単語の頭文字を英語か

います。そういった心持ち次第で、仕事が円滑に進み楽しくなってきます。その上で、お客様の要望に耳を傾けて、安全・安心かつお客様に満足いただける製品やサービスを提供しています。社員には他の人が行っていないことに挑戦し、今までにない新しい価値を創造していくことを目的に働いてもらいたいです。誰かから信頼されたり、人のためになる仕事をしたりすることによって、豊かな生活を目指そうということです」

■現在力を入れている分野についてお話しください。

「当社は中小企業向けにロボット導入支援を行っており、さがみはら

ロボットビジネス協議会にも加盟しています。また、第2の事業の柱として2004年に『安全・安心事業』をスタートしました。家庭用の防犯カメラを自社ブランドで、全国のホームセンターや家電量販店、オンラインショップ、防犯ショップなどで取り扱ってもらっています。さらにペット用に、飼い主が遠隔で見守るだけでなくコミュニケーションもとれるロボット『みるポン』を開発、2026年早々に発売する予定です」

■相模原商工会議所の新工業部長としての抱負をお聞かせください。

「当所の工業部会は、全国的にも比類なき結束力と規模を誇っている

と思います。これは先輩の皆様が築き上げてこられたもので、活発な部会活動を行っている部会だと認識しています。私はすべての会員が参加してもらえるような活動を、より一層広めていければよいと考えています。今後は少子高齢化の中で、相模原の工業も変わり目に差し掛かっています。経営者の代替わりによる事業承継のような課題にも取り組んでいきたいです」

(株)キャロットシステムズ

〒252-0231
相模原市中央区相模原4-7-10
エス・プラザビル1階
TEL : 042-750-0007
<https://www.carrotsys.co.jp/>